

1 HIV感染者・AIDS患者の報告数

平成26年に報告された全国のHIV感染者数は1,091件（前年1,106件）、AIDS患者数は、455件（前年484件）、両者を合わせた新規報告件数は1,546件（前年1,590件）であった。

中国・四国ブロック内のHIV感染者数は45件（前年55件）、AIDS患者数は30件（前年31件）、両者を合わせた新規報告件数は75件（前年86件）であった(図1、図2)。

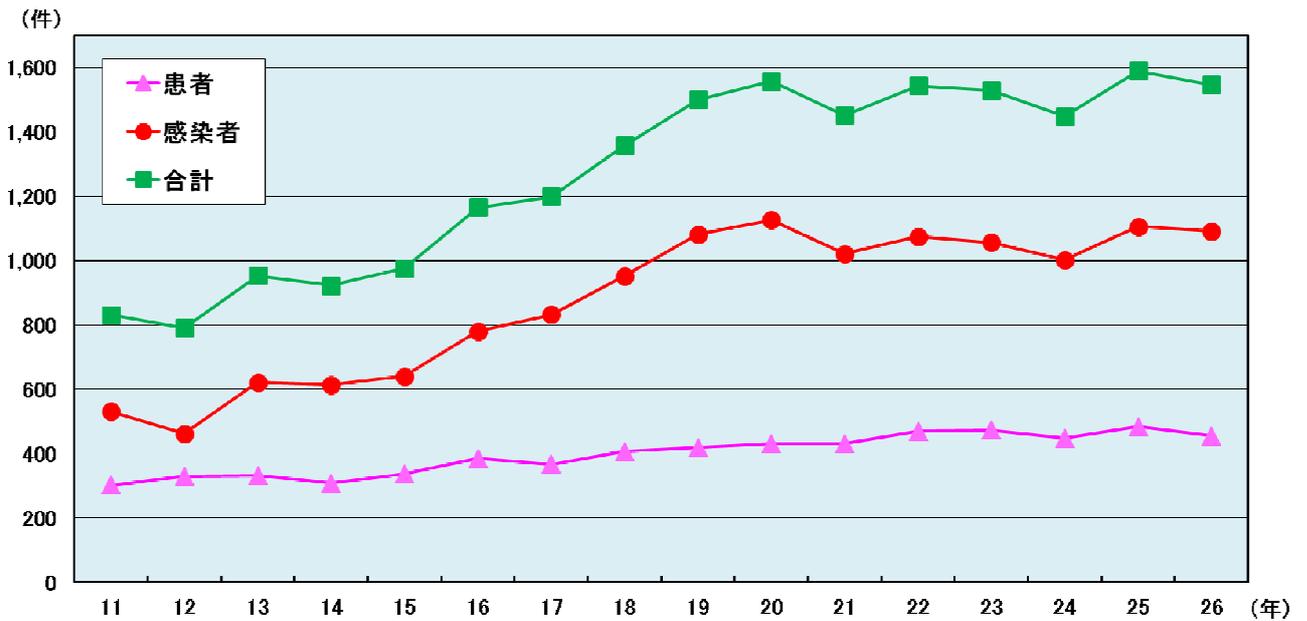


図1 全国のHIV感染者・AIDS患者の報告数

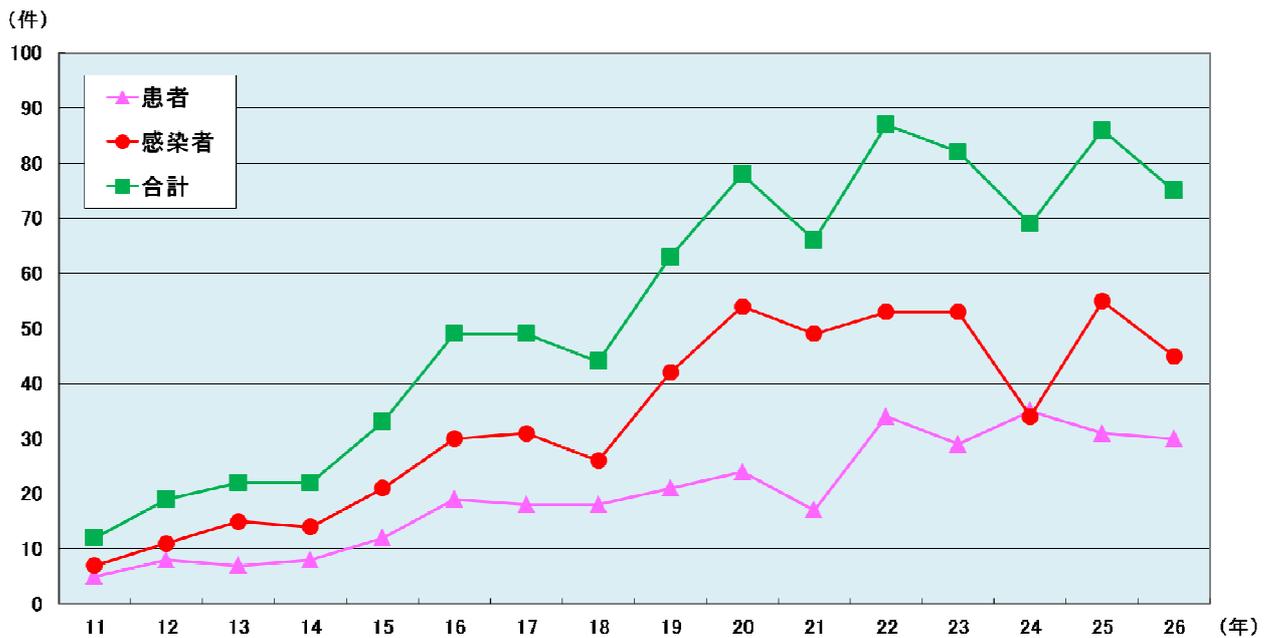


図2 中国・四国ブロックのHIV感染者・AIDS患者の報告数

2 HIV感染者・AIDS患者の感染経路別内訳(全国H26年報告)

(1) HIV感染者について

全国で平成26年に報告されたHIV感染者の感染経路は、異性間の性的接触が179件(16.4%)、同性間の性的接触が789件(72.3%)で、性的接触によるものは合わせて968件(88.7%)を占めた(図3)。また、静脈薬物使用が3件、母子感染は1件報告があった。

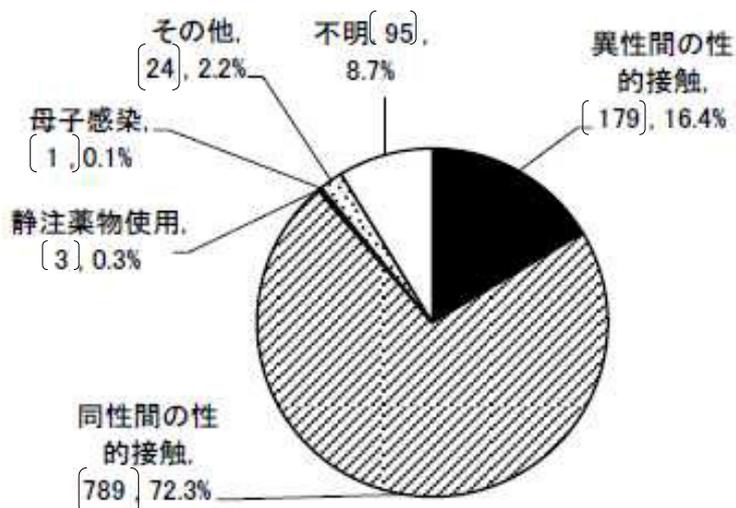


図3 全国のHIV感染者の感染経路別内訳(平成26年全国報告例)

(2) AIDS患者について

全国で平成26年に報告されたAIDS患者の感染経路は、異性間の性的接触による感染が120件(26.4%)、同性間の性的接触による感染が258件(56.7%)で、性的接触による感染は合わせて378件(83.1%)を占めた(図4)。

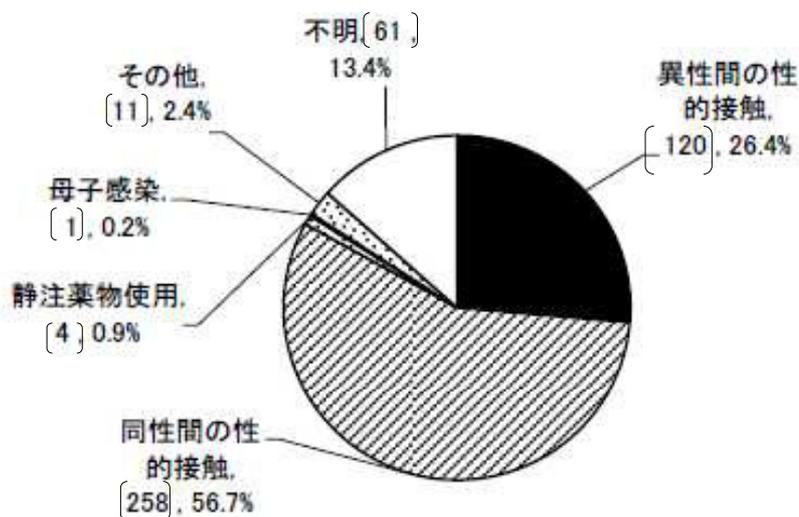


図4 全国のAIDS患者の感染経路別内訳(平成26年全国報告例)

3 検査及び相談

平成 26 年の中国・四国ブロック内の自治体における相談件数は 11,846 件（前年 12,083 件）とやや減少し、HIV 抗体検査件数は 9,080 件（前年 8,851 件）とやや増加している（図 5）。

引き続き、保健所等における HIV 相談・抗体検査を推進、周知する等の取り組みが必要である。

なお、平成 27 年第 1 四半期の前年同期との比較において、中国・四国ブロック全体では、相談件数は、H26 年 2,796 件から H27 年 2,350 件（表 1）、HIV 抗体検査件数は、H26 年 2,140 件から H27 年 1,746 件（表 2）とともに減少している。

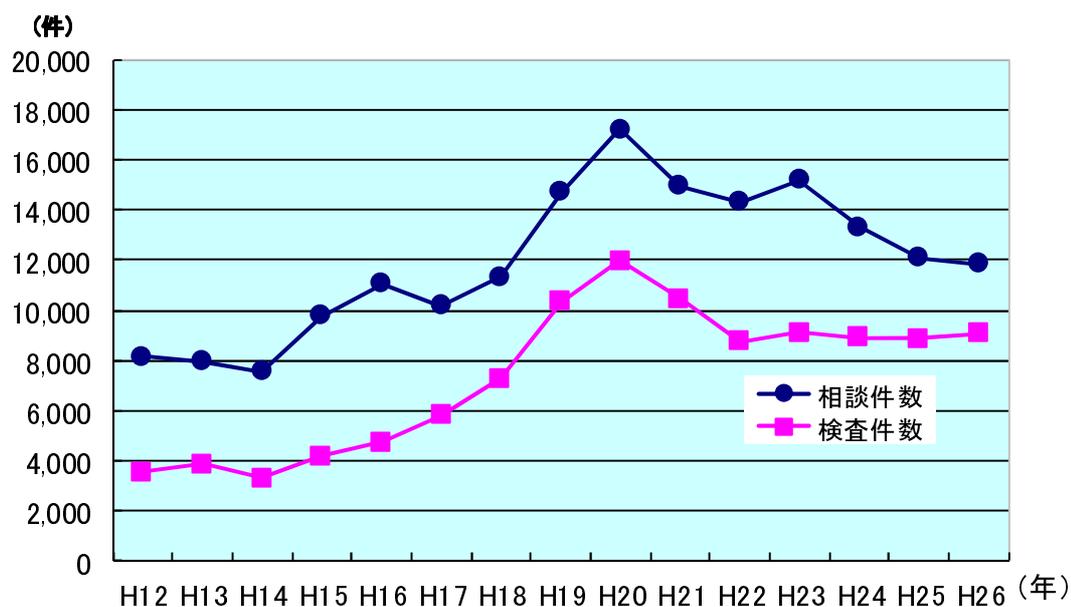


図 5 中国・四国ブロックの HIV 抗体検査・相談件数の年次推移

表 1 中国・四国ブロック保健所等における相談件数

	H26 第 1 四半期	H27 第 1 四半期
鳥取県	11	0
島根県	142	78
岡山県	489	421
広島県	1,200	1,053
山口県	178	170
徳島県	217	201
香川県	128	72
愛媛県	400	335
高知県	31	20
計	2,796	2,350

表 2 中国・四国ブロック保健所等における HIV 抗体検査数

	H26 第 1 四半期	H27 第 1 四半期
鳥取県	146	130
島根県	123	77
岡山県	278	227
広島県	587	483
山口県	278	197
徳島県	186	180
香川県	96	65
愛媛県	309	274
高知県	137	113
計	2,140	1,746

※第 1 四半期とは、1 月から 3 月のこと